

待望の事業化

宇治田原山手線促進だより

「山手線」最終区間の新規事業化決定

西脇知事への要望の様子



西脇知事への要望

令和4年6月10日、京都府が都市計画道路「宇治田原山手線」(以下宇治田原山手線)最終区間の新規事業化を決定されました。

宇治田原山手線は、バイパス整備により国道307号の渋滞緩和だけでなく、災害時における緊急輸送等の道路機能、更には、令和6年度開通予定の新名神高速道路へのアクセス向上により、企業立地の誘導等による地域産業の振興や交流人口拡大等も期待できます。

来年春季には現在工事中の南バイパスから役場庁舎周辺までの区間が完成予定。残るは役場庁舎から工業団

地までの区間(約2.1キロ)という中で、京都府において本年度測量費、土質調査、詳細設計の経費0.8億円が予算計上されました。総事業費は約53億であり、完成までには8年程度の期間を要しますが、宇治田原町の悲願達成に大きな一歩となりました。

これまで、住民会議が継続してきた要望活動が、最終区間の新規事業化に貢献することができたことはこのうえない喜びです。

最終区間の事業化は決定されましたが、本住民会議では一日でも早く全線完成が実現するよう引き続き要望活動を継続していきます。

令和4年1月20日、京都府、京都府議会に対して、最終区間の事業着手について要望を行いました。

その際に西脇知事より「宇治田原山手線への熱い想いはこれまでから住民会議の皆様から幾度となく聞いており十分理解しています。新名神高速道路完成後は、(仮称)宇治田原IC、(仮称)大津スマートIC、京滋バイパス南郷ICへのトリプルアクセスが可能等、地域の姿は一変します。まずは現在工事中の新庁舎までの区間を完成させ、その後は切れ目なく事業を進められるよう考えていきます。」という心強いお言葉をいただき、今回の事業化に繋がっていただきました。

一斉啓発活動



令和3年12月17日恒例のイベントとなっている「一斉啓発活動」を行い、町内各所に横断幕のぼり旗を設置しました。

約100人の方にご参集いただき、住民一丸となった「結束」の取組をアピールすることができました。

早期全線完成実現のためには、住民皆様の力が必要です。今年度も実施する予定です。皆様もぜひご参加ください。

企業版ふるさと納税

宇治田原町では、新名神高速道路、宇治田原インターチェンジの開設のインパクトを活用したまちづくりを進めるため、道路等の周辺環境の整備を進めています。

特に宇治田原山手線については、町が事業費の一部を負担することで全線の早期完成に向けて取り組んでおり、その財源として、本年度から企業版ふるさと納税を始めました。

住民会議としても積極的に協力することとしており、京都府宇治田原町の未来へつながる道づくりに対して賛同いただける企業はぜひともご支援ください。

なお、企業版ふるさと納税の詳細については、宇治田原町ホームページをご覧ください。

住民会議とは？

宇治田原山手線全線の早期完成を目指して、宇治田原町商工会・宇治田原町区長会・宇治田原工業団地管理組合・都市計画道路「宇治田原山手線」早期完成を促進する議員連盟が参画し、平成14年に設立しました。

町ホームページQRコード



順調に工事が進む 宇治田原山手線・山手北線

南バイパスから役場庁舎周辺までの約1.4kmの間は、京都府と宇治田原町が連携して整備を進めています。

また、宇治田原山手北線（緑苑坂から大津市との境まで約1.2kmの整備区間）は道路築造工事が概成しており、残る区間は大津市との境界辺りのみです。



都市計画道路 宇治田原山手線・北線 整備状況図

事業区間	凡例	延長	概要
①		1,830m	平成23年供用
②		880m	令和5年春供用予定
③		540m	令和5年春供用予定
④		2,100m	令和4年度着手
⑤		857m	平成10年供用
⑥		1,190m	整備中



【お問い合わせ先】

都市計画道路宇治田原山手線の
早期完成を求める住民会議

<住所> 宇治田原町大字岩山小字釜井谷1-36
宇治田原町商工会館内

<電話> 0774-88-4180